

2023.12.21 (木) 13:30

鈴木氏、指定管理者（管理組合）と契約（商業観光課、支援者立ち会い）、話し合い《概要》

（行政）

商業観光課・C主事⇒【C】、B係長同席

（指定管理者）

伊賀良まちづくり会長（兼区長）⇒【会】 飯田高原保健休養地管理組合組合長⇒【組】

（キャンプ場等の管理人）

鈴木ご夫妻⇒マスター⇒【マ】、奥様⇒【奥】

（支援者）

沢城湖を愛し発展する会 名誉会長・成瀬さん⇒【成】、会長・田畑さん⇒【田】

副会長・清水⇒【清】

- 
- 【C】未締結の管理組合と鈴木さんの契約を締結するのが最優先事項としてお話していきたいと思えます。本日、調印しお金が振込みできる流れを作りたいと思えます。事前に両者の意見をすり合わせた資料をお配りしております。両者とも共通しているのは、ここを良くしたいという思いがあるということ。また、長年努力してこられた鈴木さんのノウハウも有りますので、良い関係でいっていただけたらと思っています。
- 【会】伊賀良まちづくりの会長と□□区長もしています□□と申します。
- 【組】本年度から組合長をしている□□です。管理組合は大瀬木財産区、山の神社が組合長を務めており、財産区の任期は2年、山の神社は1年となっています。（任期3年、財産区と山の神社が持ち回り）  
（※開始前に成瀬さんと、田畑さんはお二人とご挨拶済）
- 【会】沢城湖は飯田市の土地だが、周囲は財産区や山の神社が持っています。
- 【組】元々、大瀬木財産区の土地だったが、沢城湖に別荘地を作った際に大瀬木財産区が売って、（別荘地以外の場所を）大瀬木財産区と山の神社で財産区を分けてお金の管理をしています。
- 【会】今年、鈴木さんの方でやっていただいてありがとうございます。未だ契約出来ておりませんでしたので、今日締結させていただきたいと思えます。契約は覚書となっております、役員会も開いて役員了承済です。  
厩舎の移動についていつまでということなのですが、これから冬になるので春先になるのかと思えますがいかがでしょうか。
- 【田】撤去した後に、こういうことにしたいから早くとか、そういうことはあるのですか？
- 【会】昨年度ワークショップを開いて、皆さんが使えるように更地に、いや、平らに綺麗にして多目的広場として使おうということがあります。
- 【田】ずっと見ていてね、「鈴木さん、これこれしたいから、これお願い出来ないかな」ということだったらある程度納得できるできるけど、ただ更地にしたいから撤去してって言うと悲しい部分があります。
- 【会】いくつかの案を、飯田市の市長あてに要望書を出して、市で計画を立ててということを受け取っていただいた。建物を建てるなども含めて飯田市の計画をしてもらえるという話しになっている。全体の計画書は出して、その一部にこちら（沢城湖）はなっている。
- 【田】それ、私たち全然見えないもんね。お互いに協議して、協力し合ってやるほうが良いものができるし。鈴木さんが居るとまちづくりのしたいことが出来ない。邪魔だつて言うなら、これがネックとなっているというものを示して話し合ってもらいたい。
- 【会】色々な人からの意見があって、建物も古く、木も大きくなって景色が悪くなっている。飯田市の保健休養地ということになっているのにということがあります。キャンプだけでは無く、住民が使いやすいようにすると広報紙でもお伝えしています。こういうものを作ってと飯田市に要望を出しています。
- 【成】作るの簡単だけど、後の維持、整備が大変ですよ。ここに上がってくるところの草の整備だけでも大変ですよ。

- 【会】西部山麓一帯でと飯田市も考えてくれていて、上郷のほうからリニアに合わせて計画してくれています。沢城湖、佐倉さま、かたくりの里、梅が久保など。年に1回、地域で100名くらいで来て草刈りもしている。木を切るのも、所有者、財産区、山の神で管理していつている。
- 【成】そうやって管理していくのが大変ですよ。こうやって、理解のあるお二人方が来てくれて、整備も考えてくれて有り難い話しですね。飯田市では、どこの部署がやっているの。
- 【C】観光に関する事なので商業観光課です。
- 【会】方向性は一緒なんですよ。
- 【成】そうそう！目的は一緒。ここを良くしようって。
- 【会】昔はスケートが出来て、皆さんが来て気楽に。テニスコートがあつて。遊べるような場所がこのあたり中々無いですし、散策するにも涼しいところですし。今、都会から来られて居る人もいるかと思いますが、木を一本切るのも喜んでいただける体験材料になっている。
- 【成】観光公社の□は元々旅行会社にいるから誘致とか長けているからね。
- 【会】壮年団で草刈りも来てもらっています。
- 【成】そう。じゃあ、ここのことも知ってくれているのね。
- 【会】3月に展望台まで行くところの道路の草刈りや側溝の掃除を100名でしています。そういうものを増やして、地元で壮年団という若い人達が居るのでそういう人たちにも協力してもらってやっていきたい。
- 【成】良いんじゃないですか。こうやってお二人が協力してくれるって仰っていて。
- 【会】かたくりの里愛好会や、大瀬木や北方、中村、殿岡、三日市場からも来て来ています。木の干ばつもやってくれる人も居ます。  
では、契約についてはどうでしょうか。

《契約書の現状回復（仮設厩舎の撤去費用について）の項目について話し合いがされる》  
(仮設厩舎の撤去費用について覚書に「厩舎等」と表記されているため、鈴木氏がどれだけの範囲撤去を支払うのか不安になってしまう内容になっていた。)

- 【マ】現状回復の12条3ですが、これは仮設厩舎として理解すれば良いのでしょうか。  
こうやって書面に残ると、後々役員も変って「ここに乙が負担する」と書かれているから、って言われると。そういう話しになると困ります。
- 【田】「等」を取ってあげたら良いんじゃないでしょうか。鈴木さん今まで撤去したもの、随分と費用がかかってしまっているみたいなので、飯田市もそういった点は温情をいただけたらと思いますし、鈴木さんは他のことが色々出てきたら悲しいから「等」があると色んなものに該当してしまうのでは無いかと思ってしまうと。
- 【清】そうですね。前回、変わったタイミングの時の撤去の進め方がえげつなかったの、不安になっていると思います。僕も撤去しているってことを知らなかったんですが、あのやり方はどぎつい。何の権力ふりかざしてそれをさせているのかわからなかったんで。話し聞くだけで僕凹みますもん。ここを30年以上やってきて、そのことを否定されて、壊せ壊せって。築き上げたものを壊して早く出て行けって。そういうやり方はやっぱり無かったですよ。話し合いをしないと。ここを良くしたいんだったら、今までの経験を活かして、市民の方も気やすい場所にするために、話し合いをして、これは次の計画まで未だ使えるから残そうって話し合いをすれば良かったんですよ。その話し合いが全く無かったじゃないですか。そこが今不安になっている要素だと思いますよ。トレーラーハウスなんて移動物なんだから一番最後で良かったんですよ。あれをすぐに撤去させろっていうのもおかしい話ですよ。
- 【成】それは市が言っているの？
- 【会】昨年度から指定管理を管理組合が受けて。その前から準備をさせていただいていたので。観光課と話しをして、今有るものはどうなるのかということを知ったら、通常指定管理が新しくなったら、更地にしてから次の管理者に渡すものということを知っていて。今あるもので使えるものがどれかということも飯田市が間に入ってさせていただいて、これは使いませんっていうものは話しを進めてきたのです。観光課も一緒に来て話しをしまして。
- 【成】話し合いが足らんかったっていうことですね。良くしたいっていう思いは一緒なんだけども。

- 【田】「良く」っていうのも、色々あって。鈴木さんの「良く」と、まちづくりの「良く」ってあって。私からすると景観上でバンガローを壊すっていうのも、どうして邪魔なのかわからなかったです。あと、これは私の思い違いだったらすごい失礼なことになるけれど、こういう風になって市はやっと乗り出してくれたけど、今までずっと見てきて、まちづくりに丸投げしちゃった形で。まちづくりっていうものは大きな組織だから、市も遠慮して口出せないという感じだったのでは無いかと思って、今は一生懸命こうして間に入って来て感謝しています。
- 【成】それは、本当に会話が足らなかったということですね。
- 【会】管理組合の役員の中でも、昔からここを知ってくれている方が居て、「そうは言っても長年頑張ってくれているんだから、ぱっと終わりですよという形にはしないで」と言っている方も居て、そういう形で進めてきてまして、鈴木さんのこうしたいという話しも聞かせていただきながら、ここを1年間くらい経っているものは鈴木さんの要望も聞かせていただいて、そうは言っても我々のしたいこともあってというものがあって。
- 【田】例えば、私がまちづくりの立場であったら、それを進めるに当たって鈴木がちょっとどいていて欲しいっていうのはわかる。でも鈴木さんがそれを妨害したり邪魔をしたりしない。お互いに話し合って進めていけたら良かったんじゃないのって思う。無理難題を主張する訳でも無い。
- 【成】鈴木さんはこういう性格だから。寄っていかないから食い違いが出てきちゃう。
- 【田】私もそうだけど、一生懸命やっていたら理解してもらえって思っていたんだと思います。
- 【会】長年やってこられているっていうのもありますね。まちづくりでも皆さん使える場所にしたいって、当時会長も話しをしていて、月1回か2回会議をしている経過で指定管理を地元で受けて管理をしていくのが一番かなというので管理組合が指定管理を受けたということがありますので。
- 【成】夏場に私が来ると、いつも鈴木さんはそこらを綺麗に整備していてね。それもくんであげて欲しい。
- 【田】みんなが憩える楽しい場所に。例えばうちの孫も動物見に来るのが楽しいって言ってくれてた。でも最近「何で、じいじ。ヤギも何にも居ないの？」って聞かれる。「だんだんに色んなものを作ってくれるから待っていてね。」って言ってる。
- 【会】ずっと、飼われていたということもありますが、動物が良いって言う方も居ますし、逆に動物が良くないって言う方も居ますので。その当りも今後どうしていくかって話しています。
- 【田】言い過ぎとは思いますが、動物が嫌な人は来なきゃ良いて、動物と触れあうことが楽しいっていう人間の方が多いと思います。
- 【成】動物と触れあうと認知症にも良いてね。
- 【会】広場は、(地元の)小学校が一泊キャンプをしているが場所が無くて、公民館の駐車場とかでしている。学校行事では無く、地域の行事なんですけど、希望者ですと100か200人集まる。みんなで遊べるような場所があれば良いなと言っています。
- 【奥】その話し、何回もお聞きしているんですが、私たち独占していませんし、ご予約のお電話をいただいたことありません。ここ見ていただいたらわかるように広いですよ。テント100張りだって出来ると思います。うちが来させないって、そういうような取り方になっちゃうんですよ。一番始めの話し合いに、会長もお話されたんですけど。それを今言われても、拒絶もしていませんし。
- 【会】ここを更地にしたら、これからは出来るっていうお話で。
- 【奥】いえ、あの時はそういう言い方でしたよ。馬も居て、私たちが独占して、そんな雰囲気じゃなくて子ども達に使わせてあげたい。子ども達は校庭の隅でキャンプしているって。私たち「えーっ？」って。そんなに迷惑かけていたんだってびっくりして。
- 【清】マイナスイメージをつけようと思ったら、言葉の加減ですぐにつけれるんですよ。良いことは評価されない。悪い噂はすぐに立つ。それって一番簡単なことなんです。それを良い場所にしたいっていう気持ちがあるならば、そういうことは絶対言ったらいけないって思います。市民が誰でも憩える場所って言ってますけど、今でも近くの方も来られて、紅葉や山見たり、写真撮ったり、子どもも昆虫探したり、そういうことをしている人はいっぱい居るんですよ。今、この場所の実情がどうなっているか知らないだけなんです。そういえば、沢城湖行ってないなって言っている方が大半なんです。僕の知り合いに聞いたら、ここを良い場所にしたいんだったら、そういう気持ちで色々取り組みをしていったら良いんですけど、その中で今まで貢献されてきたマスター、他県から集客してきたこともあるので。売上げを立てて、ここを整備して後世に

残すっていうスタイルを作っておかないと。ただ単に芝生を引いて寝転がれるスペースを作っても誰がそれを管理するの？売上げが無ければ、そういう整備も出来ない訳なんですよ。そういう所も含めて今までの経験を聞いて話し合いをしていくのが一番良いのでは無いかと思う。

【会】鈴木さんにすぐ辞めてもらって、我々が出来るものではないと思いますので。かと言って、鈴木さんも何十年もこの先していける訳ではないとも思います。

民間はなかなかやってくれないし、地元か管理組合の自信がある人を増やしていった体制を作ってやっていきたいなあと思っています。

【成】市も前向きにやっていった欲しい。

【田】鈴木さんは何十年も出来ないけれど、「愛する会」というものが、もう少し色んなことをお手伝いできる見通しがあれば、後継者はいっぱいいます。ですから、小さなことでも話し合ってください。

【成】すれ違いができるのが一番いけないからね。ずっと、それでいっちゃうから。

【清】決定事項ありきで進めていくと不信感ばかり生んでいくんですよ。これが決まっているからこの順で片付けましょうっていうやり方は駄目。ちゃんと話し合いをして、住民の方、大瀬木に住んでいる方、伊賀良の村の方って。ここを土砂で埋める、じゃあどうするっていうやり方をすると、その時だけ決定するけれどその後の話を誰も責任を取れない。

【会】そういう形で昨年ワークショップをさせていただいた。住民も飯田市に住む方も来ていただいた。地域全体で考えて、まとめて色んな意見も否定するのではなくて、そのご意見もつけて飯田市に提出した。箱物とか経費がかかるものは市が進めていただかないと出来ない。

【成】別荘の方、結構住んでいる方がたくさん居る。その方達は毎日ここを見ている。そういう人の意見も重いと思う。市が中心になってやってもらわないといけないけれど。

【会】市はなかなか動いていただけないもので。

【成】Cさんもこっちからやるばかりじゃなくて、Cさんから働きかけていったね。

【田】別荘の住民の意見も積極的に聞いてもらわないと。中には前の馬が居たり、ボートがあったりが良くて永住した人もいるから。通知してあれば良いけど、全然知らないうちに変ってしまったらここに永住した意味が無くなってしまうから。都会の雑踏から静かな沢城湖に憧れて来る人が何人も居るので。家だと庭が無くて、土が欲しくて、私も別荘を買って、3人ここで子どもが育ちました。

【C】覚書はどうしますか？

《厩舎等の費用負担の項目を全て抹消した》

《覚書に甲乙双方で調印》

(守り隊からの後書き)

やっと、令和5年度の契約が完了しました。

令和5年度の契約は、令和5年4月～令和6年3月末までの契約です（指定管理者とキャンプ場等の管理人の鈴木さん）

令和6年度の契約はどうなるのでしょうか。動物たちの命はちゃんと守られるのでしょうか。見守っていきたいと思っています。

ここまで読んでいただき、ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。